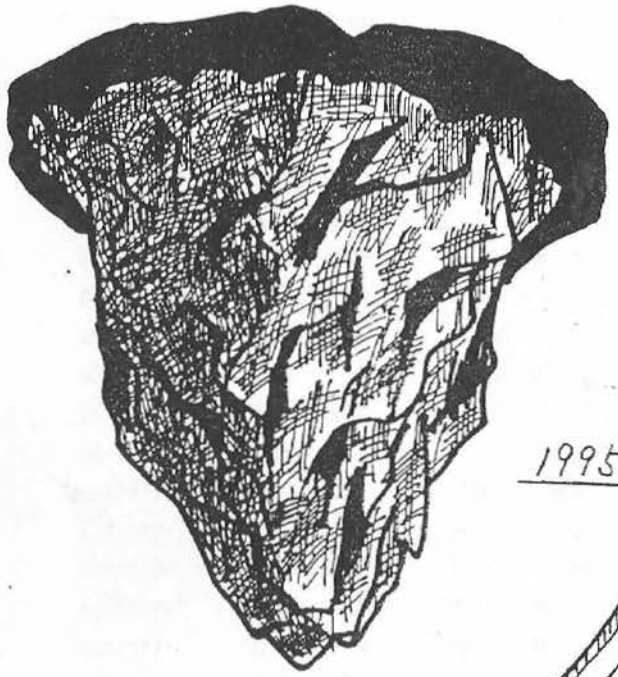
芦生原生林

SUMMER CAMP

1995 7/28~31

'95夏キャンプ

芦生からの
スタッフ プログラム
招待状



1995. 7.28~31

日本ボーイスカウト京都第38団カブスカウト隊

予定表（スタッフ用）

	一日目（28日）	二日目（29日）	三日目（30日）	四日目（31日）
6		00 起床 洗面	00 起床 洗面	00 起床 洗面
7		00 朝食 00 点検	00 朝食 40 点検	00 朝食 40 点検
8	30 スタッフ集合	00 朝礼	00 朝礼 日曜礼拝	00 朝礼 30 清掃
9	00 出発	00 テント設営 ［INST］	00 テント撤収 ［INST］	00 閉村式
10		00 出発	00 隊プログラム ＜いかだ作り＞ ［南ACM］	00 芦生山の家発
11	0 芦生山の家着	ハイキング		
12	00 昼食	＜演習林 トロッコ道 かづら谷まで ５ポイント＞ ［山本ACM］	00 昼食	30 ハウス着 解散
13	00 開村式 30		00 ひるね 30 隊プログラム ＜川遊び＞ ［南ACM］	
14	隊プログラム ＜葉書作り＞ ［畑ACM］			
15		30 帰着 おやつ		
16	30 組タイム	30 組タイム ＜葉書書き＞	00 野外料理準備 ［岡本ACM］	
17	30 風呂	30 風呂	30 野外料理	
18	30 夕食	30 夕食	30 風呂 00	
19	30 夜間ゲーム ［西脇JACM］	30 夜間訓練 ［入矢INST］	大営火 ［西脇CM］	00 反省会 ハウス長休
20				30 解散
21	00 組長次長会議 DC・DL会議	00 組長次長会議 DC・DL会議	00 組長次長会議 DC・DL会議	
22	本部会議	本部会議	本部会議	

献立表

朝	―	ごはんとみそ汁	ごはんとみそ汁	パンと牛乳
昼	かぶ弁当	かぶ弁当	五目そーめん	―
夕	どんぶり	からあげ・ｽﾊﾟｹﾞﾃｨｰ	野外料理	―

優秀綬制作担当・受賞結果

	タイトル	制作担当者	受賞組・受賞者
第一日目	手作りはがき賞		
	夜間ゲーム賞		
	集合賞		
	第一日目優秀組		
第二日目	ハイキング賞		
	夜間訓練賞		
	クリーン賞		
	第二日目優秀組		
第三日目	いかだ賞		
	野外料理賞		
	営火賞		
	第三日目優秀組		
総合	敢闘賞		
	努力賞		
	スマートネス賞		
	個人優秀賞		
	総合優秀組		

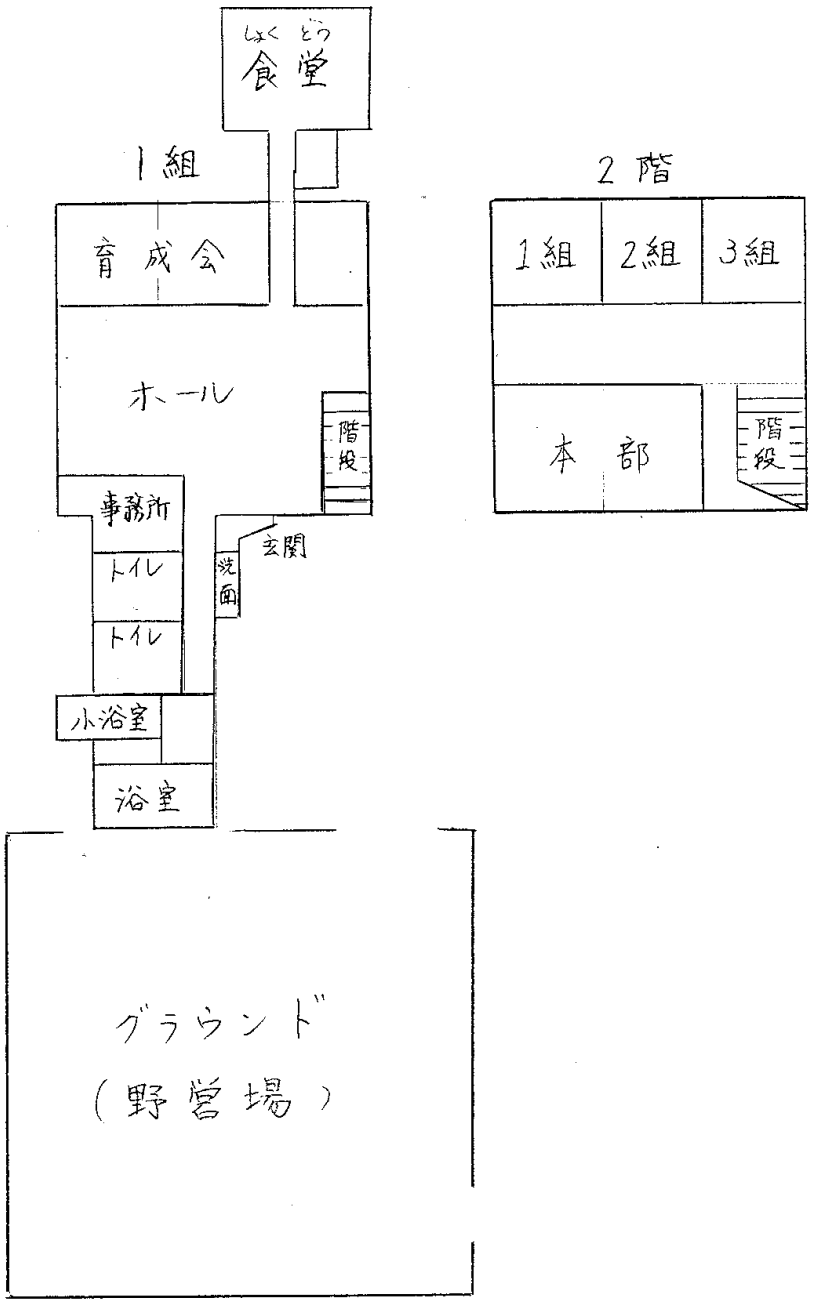
１９９５年度年少隊夏季舎営実施要項

期　　間　：　１９９５年7月２８日（金）～３１日（月）　　３泊４日
実施場所　：　北桑田郡美山町芦生　京都府芦生青少年山の家
　　☎０７７１７－７－０２９０（不在の時　０２３６）
　　芦生なめこ組合工場　↑
連 絡 先　：　同上　京都第３８団年少隊　宛
集　　合　：　7月２８日（金）午前８時４５分　　ハウス長休
解　　散　：　7月３１日（月）午後０時３０分頃　　ハウス長休
反 省 会　：　7月３１日（月）午後７時　　ハウス長休
交　　通　：　末吉氏にバス提供を依頼中
医療機関　：　北桑田郡美山町上平屋　平屋診療所
　　☎０７７１－７５－１１１３（代表）
責 任 者　：　京都第３８団年少隊隊長　西脇　孝典

本部体制　：

隊　長	西脇　孝典	総括責任
副　長	岡本　健司	写真・記録
副　長	南　忠治郎	備品管理
副　長	山本　　茂	健康安全
副　長	畑　秀悌生	会　　計
副長補	西脇　淳人	スカウト総括
ｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ	福井　和雄	スカウト総括
ｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ	入矢　次郎	救　　急
ｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ	西野　誠人	技　　能
ｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ	阿原　求尚	救急補佐
ｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ	江本　　務	救急補佐
ｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ	山田　哲央	技能補佐

舎営場見取り図（芦生山の家）

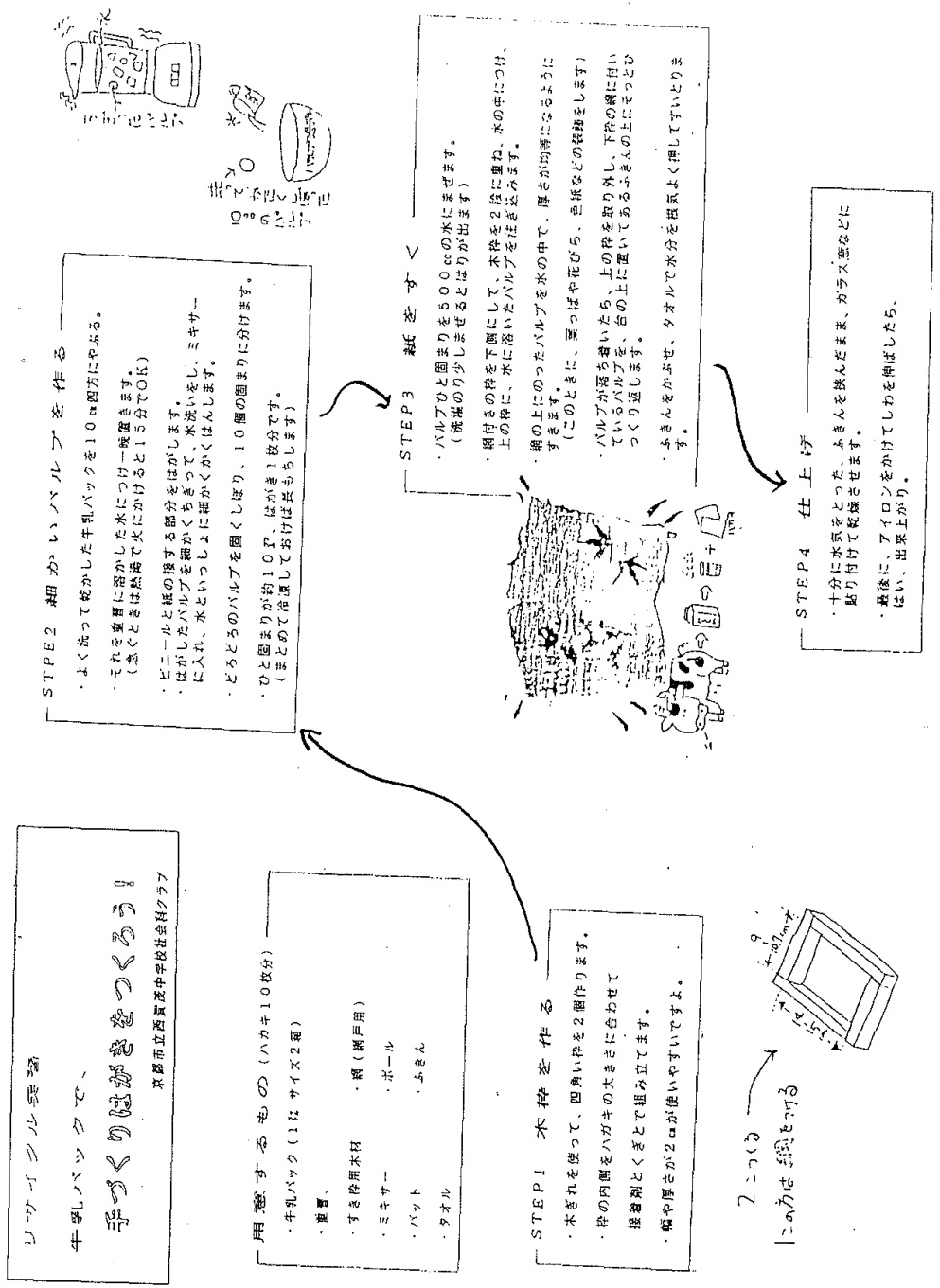


開所式			
実施日時	１９９５年7月２８日　金曜日　１３時００分～１３時３０分		
場　所	芦生山の家広場	司会	

時　間		担当	内　容　詳　細　　『』は司会の言葉
13:00	全員集合		・ホイッスル集合　－　U字隊形 ・組呼報告→　　→隊長
	開会の辞	司会	『ただいまから１９９５年度日本ボーイスカウト京都第３８団カブスカウト隊夏季キャンプ開所式を行なう』
	礼　拝	司会	『全員その場で脱帽・合掌・礼拝－－解いて・着帽』
	国旗掲揚		『国旗掲揚』　掲揚手２名ポール直下へ 『全員ポールに正面』 ・掲揚手の準備完了の合図の後、隊長が「揚げ」の合図 『国旗に敬礼』 ・国旗が竿頭につくと同時に敬礼を解く 『元の位置へ』 ・掲揚手は作業を完了してから自席にもどる
	連盟歌		『連盟歌斉唱』　２番まで
	隊長挨拶	ＣＭ	『隊長のあいさつ』 開会宣言・予定・心得など スタッフ紹介（任務）－各スタッフ一言
	当番組任命	ＣＭ	『当番組任命を行なう。第一日目当番組　組全員前へ』 ・当番組全員隊長の前に整列 ・当番組章授与 ・当番組の役割を組長が大きな声で読み上げる
	ソング		『ソング』 ・曲　”スカウト大谷”
	閉会の辞	司会	『これをもって１９９５年度日本ボーイスカウト京都第３８団カブスカウト隊夏季キャンプ開所式をおわる』 『今後の指示』
13:30	今後の指示		・心得指示 ・午後の隊プロ
	解　散		

	ハガキ 作り		
実施日時	H 7年7月28日 金曜日 13時30分～14時30分		
場 所	芦生 山の家	担当	畑

時 間		担当	内 容 詳 細
13:30	細かいパルプ作り		①乾かした牛乳パックを10cm四方にやぶる ②熱湯に15分かける ③表面のビニールをはがす ④細かくちぎって水洗し ミキサーに入れ 水といっしょにまぜる ⑤どろどろのパルプをしぼり 10個の固まりに分ける ⑥ひと固まりが約10g ハガキ1枚分です。
	紙をすく		①ひと固まりを500ccの水にまぜる (洗タクのりを少しまぜるとはりが出ます) ②アミ付きの枠を下側にして木枠を2段に重ね 水の中につけ上の枠にパルプを注ぎ込む。 ③アミの上にのったパルプを水の中で厚さが均等になるようにすく(この時 葉っぱや花びらを入れる) ④パルプが落ちついたら上の枠を取り外し 下枠のアミに付いているパルプを台の上においてあるふきんの上にそっとひっくり返します ⑤ふきんをかぶせタオルで水分を押してすいとります
	仕上げ		①十分に水気をとったふきんを挟んだまま、ガラスまどなどに貼り付けて乾燥させます ②最後にアイロンをかけてしわを伸ばせば完成 以上



	夜間ゲーム		
実施日時	7年7月28日 金曜日　7時30分～8時30分		
場　所	グラウンド	担当	西郡JACM

時　間		担当	内　容　詳　細
7:00 ～ 7:30 ～ 8:15 ～ 8:30	準備		暗夜行路方式でロープの結び目、手で、何結びかを推定する グラウンドにくい打ちロープを張り行う くい打ち、ロープ張り、結ぶ 各組始めスタート 終了　解答用紙くばり書かす 解答用紙提出 準備品 竹、ロープ、竹打ち 解答用紙3枚(各組)

点　検	朝一番　一日の始まりとして気持ちを引き締めよう　健康状態に留意する
実施日時	１９９５年7月29・30・31日　毎日　７時４０分～　８時００分
場　所	各組　宿舎　あるいは　テント

時　間		担当	内　容　詳　細
7:40	整列		・各組　整列　－　制服
	入場		・隊旗手先頭に　（隊旗手：　　）
	点検		・当番組から順次点検 準備未了の場合、後回し ・整列確認　組長報告→隊長へ ・点検　（所要　各組５分） 健康状態　－　睡眠・便通・体調など 持ち物　－　ハンカチ・ティシュ 身仕度　－　服装・つめ 宿舎　－　荷物整理・テント状態 ・待機指示　－　集合準備で待機
8:00	完了		・時間厳守
	注意		☆各リーダーから、スカウトに激励のことばをかける

講　評	第一・二・三日目　講評　　優秀綬　授与		
実施日時	１９９５年７月29・30・31日　毎日　　８時００分～　８時１０分		
場　所	芦生山の家　広場	司会	

時　間		担当	内　容　詳　細　　『』は司会の言葉
8:00	全員集合		・ホイッスル集合　－　U字隊形 ・組呼報告→　　→隊長
	開会の辞	司会	『第　日目講評をおこなう』
	講　評		・各組ごとに、昨日から今朝にかけての講評をおこなう 優秀組の発表　－ （一日目）　　（二日目）　　（三日目） 手作りはがき賞　　ハイキング賞　　いかだ賞 夜間ゲーム賞　　夜間訓練賞　　野外料理賞 集合賞　　クリーン賞　　営火賞 第一日目優秀組　　第二日目優秀組　　第三日目優秀組 ・隊長への報告 「以上の点を評価し、キャンプ第　日目 賞　－　組 賞　－　組 賞　－　組 そして 第　日目優秀組　－　組 に決定します。　」 『　組全員前へ』
	優秀綬 授与	ＣＭ	・優秀綬授与
	祝声	司会	『　組　夏季キャンプ　　賞おめでとう』 『ウォー・ウォー・ウォー』（全員）
	解散		

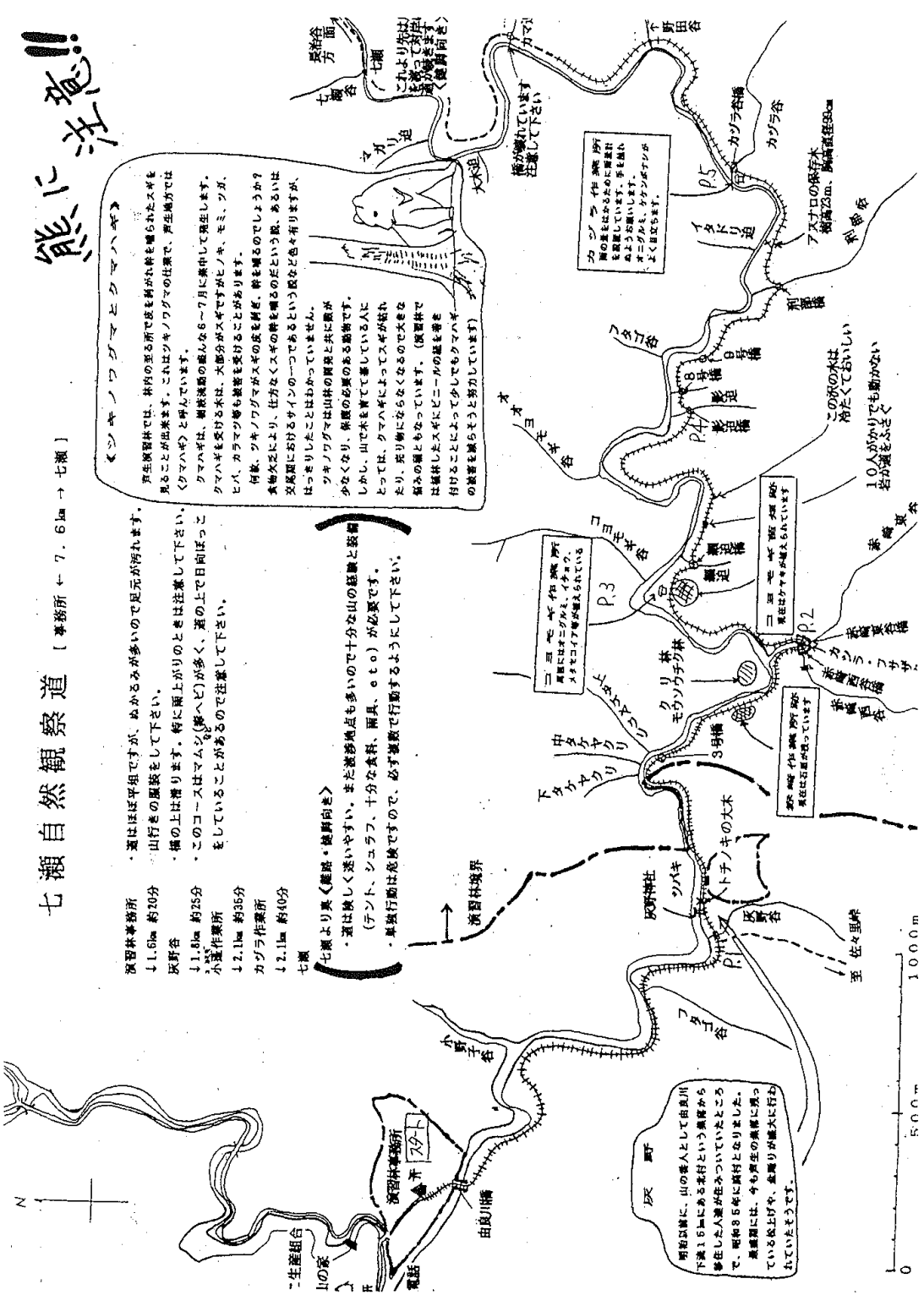
朝　礼	第二・三・四日目　朝　礼		
実施日時	１９９５年７月29・30・31日　毎日　　８時１０分～　８時３０分		
場　所	芦生山の家　広場　　隊旗前	司会	

時　間		担当	内　容　詳　細　　『』は司会の言葉
8:10	全員集合		・講評終了解散後、　　はただちに隊旗前へ ・パック集合　－　大輪 ・カブコール　　－　挨拶ののち、U字形に整列
	開会の辞	司会	『ただいまから、キャンプ第　日目の朝礼をおこなう』
	礼　拝	司会	『全員その場で脱帽・合掌・礼拝－　』 『解いて・着帽　』
	国旗掲揚	当番組 組長 次長	『国旗掲揚』　掲揚手２名ポール直下へ 『全員ポールに正面』 ・掲揚手の準備完了の合図の後、隊長が「揚げ」の合図 『国旗に敬礼』 ・国旗が竿頭につくと同時に敬礼を解く 『元の位置へ』 ・掲揚手は作業を完了してから自席にもどる
	ソング		『ソング』　　－　掲揚完了が長びけば、途中でも可 ・曲　”　　”
	隊長の話	ＣＭ	『隊長のはなし』
	朝の言葉		『朝のことば』　－　短いあいさつ
	ソング		『ソング』　　曲　”　　”
	当番組 交替		『当番組の交替をおこなう。昨日の当番組　組、本日の当番組　組　全員前へ』 ・隊長の前に両組向かい合って整列・敬礼 ・昨日の当番組　組長　「当番組の役割」朗読 当番組章をわたす－激励のことばをそえて ・本日の当番組　組長　「当番組の役割」朗読 ・敬礼　－　自席へ
8:30	閉会の辞	司会	『これをもってキャンプ第　日目朝礼を終わる』 『今後の指示』
	今後の 指示		・隊プログラム指示待ちの連絡・服装指示など
	解　散		

	ハイキング　～トロッコ道を、由良川源流へ～		
実施日時	１９９５年7月29日（土）　１０：００～１５：３０		
場　所	芦生山の家→かづら谷河原→芦生山の家	担当	山本ＡＣＭ

時　刻		担当	内　容　詳　細
			想定 ｛少年レンジャーたちが、由良川沿いのトロッコ道を さかのぼり、芦生の森にどっぷりと浸る｝ コース　（地図参照） 行き：組単位の追跡ハイキング 山の家→演習林事務所→灰野→赤崎 →コヨモギ作業場→影迫橋→かづら谷作業場 帰り：隊行進 かづら谷→コヨモギ→灰野→山の家
10:00	出発	ＣＭ	組単位出発：当番組から５分ごと （カブ弁・水筒・指示書・地図・訓練具）
(10:45)			Ｐ１：灰野 ［暗号解読ゲーム：森の木の種類　］
(11:30)			Ｐ２：赤崎橋の下　…　橋が崩れている。迂回道指示 ［休憩：はちみつレモンスライス・あめ］
(11:50)			Ｐ３：コヨモギ作業場前　（休憩） ［キムス　］
(12:15)			Ｐ４：影迫橋 ［観察：２分間で聞こえるもの・見えるもの］
12:30			Ｐ５：かづら谷作業場下河原 ［到着報告・森の木解答回収・昼食指示］
	昼食		
13:00	全体プロ		木のスケッチ　：　森の歌 組ごとに場所を決めてスケッチ
13:30	出発		隊行進　：　かづら谷→コヨモギ→灰野→山の家
15:30	帰着		山の家：帰着
準備品	全体		想定文・指示書・地図、トランシーバ、救急箱
	Ｐ１		暗号文　：例　”芦生の森の木の種類を調べなさい”
			解答用紙
	Ｐ２		はちみつレモンスライス・あめ
	Ｐ３		キムス用品：２０種類・解答用紙
	Ｐ４		解答用紙
	Ｐ５		
注意			①　演習林入り口；届出用紙に記入のこと ②　安全注意：　橋の上はすべる、一部くずれた橋あり マムシ注意

ＢＳ京都３８　カブスカウト隊



	夜間訓練		
実施日時	7年7月29日 土曜日 7時30分～9時00分		
場所	ハイキングコース 1部 神社	担当	西田&JACM

時間		担当	内容詳細
7:00	準備		神社に本を置きに行き（懐中電灯） スタッフ配置・スタート地点 ・神社付近 ・道中
7:30 ～			1人づつスタート
8:50			終了
9:00			解答用紙・かいしゅう
			準備品 ・本 ・えんぴつ ・懐中電灯 ・解答用紙（各組一枚） ・指示文

ｽｶｳﾄｵｳﾝ	真宗大谷派　スカウトオウン　―　導師		
実施日時	１９９５年７月３０日　日曜日　８時３０分～　８時４５分		
場所	芦生山の家　広場	司会	

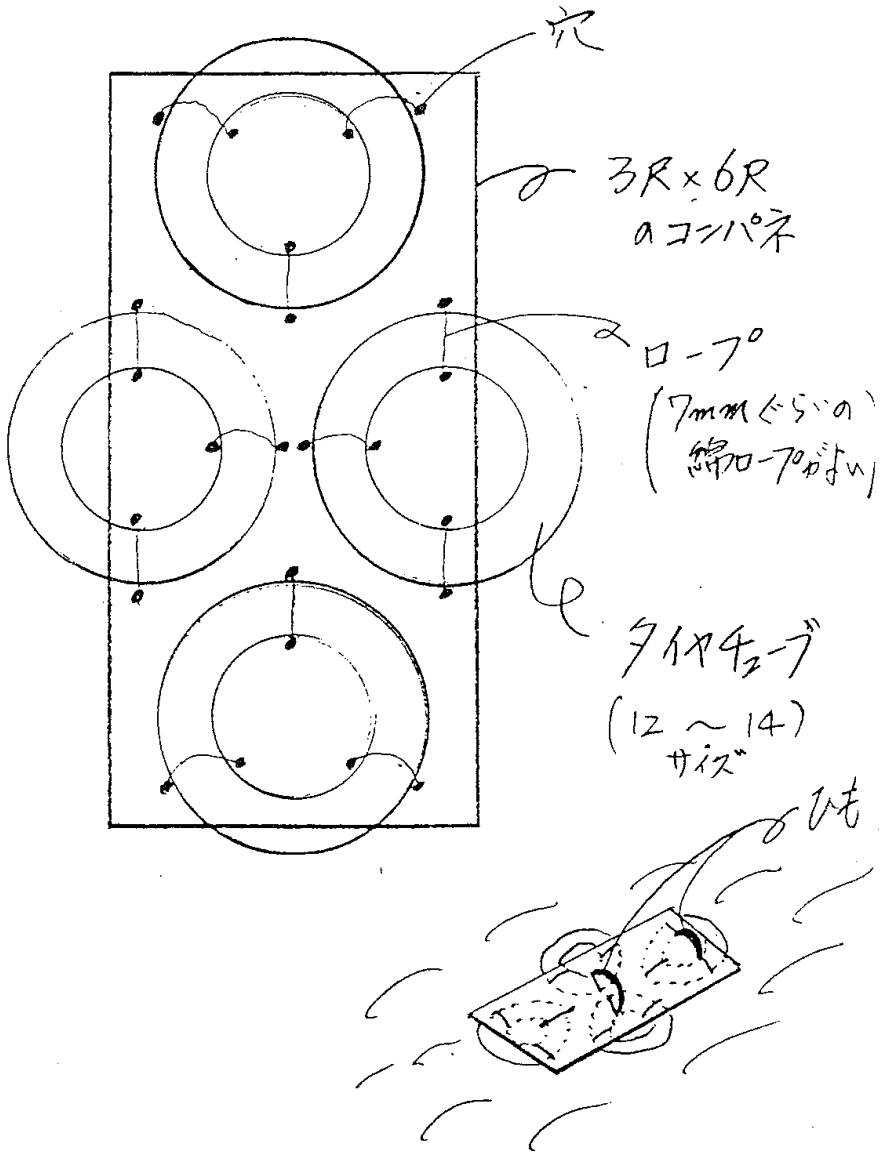
時間		担当	内容詳細　『』は司会の言葉
	ねらい		・信仰心のたいせつさを理解させる ・念珠持参
8:30	開会の辞	司会	『ただいまから、スカウトオウンをおこなう』
	讃歌「衆会」	導師	『讃歌　衆会』 ・導師は、U字隊形の前にでて合掌し、はじめの一句を導唱する。　導師は、自席に戻らず、その場にいる。
	黙想	司会	『全員その場で脱帽・・・一同合掌　』
	三帰依	導師	『合掌のまま、三帰依』 ・導師の導唱に復唱し、唱和する。 『合掌を解いて』
	やくそくさだめ	当番組組長	『やくそくとさだめ、唱和。当番組組長につづいて』 ・当番組組長　U字隊形の前に出てカブサインをする。復唱法で唱和する。
	法話	CM	『法話』
	讃歌恩徳讃	導師	『讃歌　恩徳讃』 ・導師　その場ではじめの一句を導唱。
	黙想	司会	『一同合掌　礼拝　』 『解いて　着帽　』
	閉会の辞	司会	『これをもってスカウトオウンをおえる』 『今後の指示』
	今後の指示		・隊プログラム指示待ちの連絡・服装指示など
	解散		

	いかだ作り		
実施日時	7年7月30日 日曜日 10時 00分～11時 40分		
場所	山の家前グラウンド（敷プロ）山の家東へ約3.4分（ロッジ横）	担当	南

時間		担当	内容詳細
10:00		南	いかだ作りの説明及びその他注意事
10:10			いかだ作りに使う材料等の準備
10:20			いかだ作りに取りかかる
11:30			いかだ作り作業を終る
11:40			作業した所の清掃、道具、材料等のあとしまつ

イカダ下り用 イカダ図

※ 子ども3人用 （コンパネ1枚）



	野　外　料　理		
実施日時	平成７年７月３０日　日曜日　１６時００分～１８時３０分		
場　所	グラウンド	担当	岡本ＡＣＭ

概　要：　各組・育成会・本部がそれぞれ分担し，野外料理パーテイーを行う。
（分担）各　組…焼おにぎり，焼とうもろこし，焼そば
育成会…フルーツデザート，飲み物
本　部…お好み焼

時　間		担　当	内　容　詳　細
昼食片付終了後	下こしらえ	育成会	焼おにぎり用のごはん（厨房）
16:00	準備	全員	晴天時：　グラウンドで調理して食べる 雨天時：　本館と食堂の間の中庭で調理し食堂で食べる
17:00	パーテイー	全員	＊各メニューの分量は一人当り
16:00	後片付け	全員	おにぎり（小）１，とうもろこし半分 焼そば半玉，お好み薄焼直径15㎝程度
16:30	終了		＊フルーツデザートは 17:30以降

（用意する物）
コンロ×６，炭（１５キロ程度），フライ返し×８，トング×４，
パレット×４，ボウル（大）×５，大鍋×２，おたま×５，
食材料（調味料含む），
フライテント（大）×３，グランドシート×５，テーブル×５，
各屋台の看板

	大　営　火		
実施日時	7年7月30日 日曜日　19時00分～21時00分		
場　所	山の家　グラウンドにて	担当	西脇ACM

時　間		担当	内　容　詳　細
19:00			ハミング　入場，準備組，ファイヤーキーパー 月火の営火　西脇ACM，入知 1組スタンツ　準備品 ぞうさんとくもの巣　トーチ棒 2組ソング　薪組 魚鳥木　軍手 3組スタンツ　スコップ 人参　大根　かぶら　灯油 1組ソング 古時計 2組スタンツ 花火 3組ソング お弁当箱　予備 おもちゃの手品　あぶらいも 育成会ソング　く樹スタンツ ひとひのおわり 退場
21:00			

閉会式			
実施日時	１９９５年7月３１日　月曜日　　９時００分～　９時３０分		
場　所	芦生山の家　広場	司会	

時　間		担当	内　容　詳　細　　『』は司会の言葉
9:30	全員集合		・ホイッスル集合　－　U字隊形 ・組呼報告→　　→隊長
	開会の辞	司会	『ただいまから１９９５年度日本ボーイスカウト京都第３８団カブスカウト隊夏季キャンプ閉所式を行なう』
	礼　拝	司会	『全員その場で脱帽・合掌・礼拝－－解いて・着帽』
	ソング		『ソング　　光の路　』
	総合講評		『総合講評をおこなう』 ・キャンプ全体をとおして、総合的講評をおこなう。 総合優秀組の発表 ・隊長への報告 「以上の点を評価し、１９９５年度夏季キャンプ総合優秀組を　　組に決定します」 『　　組全員前へ』
	表　彰	ＣＭ	総合優秀組賞授与
	祝　声	司会	『　組夏季キャンプ総合優秀組おめでとう』 『ウォー・ウォー・ウォー』
	個人表彰 敢闘賞	ＣＭ	『敢闘賞の発表、呼ばれたものは返事をして前へ 組　　君　』 ・一言講評ののち、敢闘賞授与 『　　君敢闘賞おめでとう　ウォー・ウォー・ウォー』
	努力賞 ｽﾏｰﾄﾈｽ賞 個人優秀賞		以下、同じ要領 努力賞 スマートネス賞 個人優秀賞
	連盟歌		『連盟歌　斉唱』　　２番まで
	隊長挨拶	ＣＭ	『隊長のはなし』 ・閉会宣言をふくむ

閉会式	つづき		
実施日時	１９９４年8月８日　月曜日　　９時００分～　９時３０分		
場　所		司会	

時　間		担当	内　容　詳　細　　『』は司会の言葉
	当番組 解任	ＣＭ	『当番組解任を行なう。第四日目当番組　組全員前へ』 ・当番組全員隊長の前に整列 ・当番組章返還 ・隊長のことば 「ただいまをもって当番組を解任する」
	感謝の エール		『感謝のエールを送ります』 『お父さん・お母さんのほうに向いて、 おとうさん・おかあさんお世話になりました。 ありがとう　ウォーウォーウォー』 『宿舎のほうを向いて、 美山町の川や山、芦生の森 そして田村神社　三泊四日 ありがとう　ウォーウォーウォー』
	国旗降納		『国旗降納』　降納手２名ポール直下へ 『全員ポールに正面』 ・降納手の準備完了の合図の後、隊長が「降ろせ」の合図 『国旗に敬礼』 ・国旗がおりたら、敬礼を解く 『元の位置へ』 ・降納手は国旗をたたみ、隊長へ。自席にもどる
	閉会の辞	司会	『これをもって１９９５年度カブスカウト隊 夏季キャンプを終わる』 『今後の指示』
	今後の 指示		・帰る準備の指示 ・反省会の連絡　　３１日　１９：００　ハウス長休 ・９月隊集会の連絡 ・くまスカウトーボーイ隊キャンプの件 など